

公衆衛生看護学概論	2年・前期	2単位	島田 昇 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310892

1. 授業のねらい・概要

地域にはさまざまなライフサイクルや健康レベルにある人々が生活している。公衆衛生看護は自治体の保健師を中心に、個人・家族・集団・組織を対象としてとらえ、地域の人々の健康課題を明らかにし、予防や健康危機への対応を中心にQOLの向上をめざす取り組みを行っている。公衆衛生看護の理念および目的、保健師の役割と機能を理解し、公衆衛生看護活動の特性と方法について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 公衆衛生看護の理念と目的を理解する。
2. 公衆衛生看護の対象と特異な活動方法を理解する。
3. 公衆衛生看護活動の場の違いと活動方法を理解する。
4. 社会環境の変化に伴う健康課題の変遷と関連法規について理解する。
5. 公衆衛生看護の地域アセスメントを理解する
6. 公衆衛生看護活動の実際を知る

3. 授業の進め方

公衆衛生看護学の基本的な考え方や保健師の業務・役割および保健師の活動の場や特性など、ポイントを絞って授業を進める。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	公衆衛生看護の基本概念・目的	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「予防と公衆衛生看護」を読んでおくこと。 復習：講義内容の予防の概念，Winslow, C.E.A の公衆衛生の定義について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
2	公衆衛生看護の対象	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「地域保健活動の場と対象」を読んでおくこと。 復習：講義内容の公衆衛生看護における「生活」，「家族」，「集団」，「対象」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
3	生活環境と健康課題	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「健康とは何か」，「ヘルスプロモーション」を読んでおくこと。 復習：講義内容の公衆衛生看護における「健康の定義」，プライマリヘルスケア，ヘルスプロモーション，健康日本 21（第二次）について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
4	公衆衛生看護の活動方法	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「保健行動と保健活動」を読んでおくこと。 復習：講義内容の健康信念モデル（ヘルスビリーフモデル），社会的学習理論（社会的認知理論），トランスセオレティカルモデル（行動変容ステージモデル）について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
5	産業保健活動	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「わが国の産業保健の現状」を読んでおくこと。 復習：講義内容の産業保健看護師の役割について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
6	学校保健活動	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「おもな健康課題と養護教諭の活動」を読んでおくこと。 復習：講義内容の学童期・思春期の健康課題と，健康課題への活動について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇

7	行政保健活動	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「保健医療福祉システム」を読んでおくこと。 復習：講義内容の保健所保健師の役割，市町村保健センター保健師の役割について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
8	地域アセスメント	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域診断の概念」を読んでおくこと。 復習：講義内容の地域診断の目的と定義，プリシード・プロシードモデル，コミュニティ・アズ・パートナーモデルについて教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
9	保健福祉対策と事業計画	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「保健事業計画と保健師の役割」を読んでおくこと。 復習：講義内容の計画策定のプロセス（PDCAサイクル）について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
10	国際協力と国際看護	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「社会の環境変化と健康課題」を読んでおくこと。 復習：講義内容の多文化共生社会・グローバルゼーションと保健師の役割について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
11	公衆衛生看護活動の実際	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「保健師が行う保健指導」を読んでおくこと。 復習：講義内容の相談的方法，教育的方法について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
12	公衆衛生看護活動の特性	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「保健師が行う保健指導」を読んでおくこと。 復習：講義内容の一次予防，二次予防，三次予防，ポピュレーションアプローチ，ハイリスクアプローチについて教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
13	公衆衛生看護活動の実際①地区活動	講義	予習：予習：公衆衛生看護学.jp「地域診断の概念」を読んでおくこと。 復習：講義内容の対象地域の情報収集，情報の分析，地区踏査の観察のポイントについて教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
14	セルフヘルプグループ活動	講義	予習：予習：公衆衛生看護学.jp「セルフヘルプグループ」を読んでおくこと。 復習：講義内容について感想と考察をレポートにまとめる。	赤石嘉苗
15	地域で暮らす難病患者への支援活動	講義	予習：予習：公衆衛生看護学.jp「難病患者・家族への保健師活動」を読んでおくこと。 復習：講義内容について感想と考察をレポートにまとめる。	川尻洋子

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，課題レポート30%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：荒賀直子，後閑容子（2022）公衆衛生看護学.jp 第5版データ更新版，インターメディカル
参考文献：中央法規 公衆衛生看護学，日本看護協会出版会 公衆衛生看護学

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

テキスト内容を熟読し，予習（30分以上）を行い，受講後は講義内容をノートにまとめること。

8. 受講上の留意事項

日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけ，図書館を利用し文献や専門雑誌に目を通すこと。
遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。
提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政機関及び医療機関における保健師としての実務経験を活かして，講義を行う。